

盛大に遺愛学院創基150周年記念 大同窓会が行われました。

9月28日（土）午後5時30分より、函館国際ホテル（天平の間）で大同窓会が行われ、20歳から95歳までの同窓生、旧教職員、現教職員530人が集まりました。

午前の記念式典に参加して下さった先輩たちは、とても喜んで下さっており、現役の遺愛生は本当に素晴らしい、話を聴くところは顔をあげて静かに聴くし、讚美歌や校歌も大きな声でしっかり歌っていてとても感心しました。また、挨拶や案内も笑顔でしっかりとしてくれて、とてもさわやかな印象でした。…と口々に語ってくれました。

遺愛の卒業生は本当に元気な方が多いです。カナダのオタワからいらした方は、145周年の時にもカナダからいらして、その時は生徒向けに講演をして下さいました。今年は90歳になったので無理かなと思ったけれど、お医者さんに見てもらったら大丈夫と言われてきました。来て本当に良かった。と言っていました。広いカナダ、まだ、自家用車で走り回っているそうです。もちろん医者への許可のもとです。

沖縄から駆けつけた85歳の方が、わざわざ挨拶に来て下さいました。1955年沖縄がまだ、アメリカの領土だった時に、キリスト教学校教育同盟を通して遺愛に沖縄から留学してきました。遺愛で2年間を過ごし卒業した後、沖縄に戻り、福祉関係の仕事をし、県会議員になり、平和のために頑張って来られた方です。遺愛にいたときには寮生活をし、遺愛の生徒が毎月お金を出し合って、彼女のお小遣いを用意したそうです。修学旅行で遺愛生が沖縄に行った時に、戦争体験をお話して下さいました。

日曜日の午後、遺愛に来た40代の卒業生は、大同窓会に出席していて、「会のはじめに礼拝をし、讚美歌を同窓生全員で歌った時は心にじわーっときて思わず目頭が熱くなりました。高校時代に戻った気がしました。」…としみじみ語っていました。

大同窓会では、讚美歌308番、校歌、ハレルヤコーラスを全員で声高らかに歌ったのですが、それは凄いことです。他の学校では、卒業生が皆で歌えるのは



校歌くらいだと思いますが、私の場合は自分の高校・大学の校歌は残念ながらおぼえていません。校歌だけでなく、讚美歌、ハレルヤコーラスまで卒業生全員で歌える学校は本当に珍しいと思います。あらためて絆を深めた大同窓会でした。

2024年10月7日（月）